南雲博文 書

ガバナー月信

vol.08 2025.2

1月に開かれた室賀ガバナーエレクトご夫妻渡米壮行会

月信2月号

① ガバナーメッセージ
② インターアクト献血奉仕活動①
③ インターアクト献血奉仕活動②
④ 済生会新潟県央基幹病院への寄贈
⑤ 県内留学生と長岡地域の交流事業
⑥ 地区ラーニング委員会
⑦ 財団委員会通信
⑧ 地区主要行事予定（2月・3月）
⑨ 新入会員紹介・訃報
⑩ コーディネーターニュース
⑪ ハイライトよねやま

Rotary ロータリーのマジック

国際ロータリー第2560地区
2024-25年度

南雲ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町1574
ホテルイタリア軒B1
TEL：025-222-2561 FAX：025-222-2565

「ロータリー創立記念日と世界理解と平和の日」

2024-25 年度 ガバナー
南雲　博文（長岡 RC）

２月は平和構築と紛争予防月間です。紛争予防と仲裁に関する、若者（将来にリーダーとなれると望まれる人）を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争防止 / 紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。また、２月 23 日はロータリー創立記念日で、ロータリー創業者ポールハリスが友人３人と最初に会合を持った日であり、更にこの日は「世界理解と平和の日」として順守されています。この日各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め強調しなければならない（以上抜粋）とされています。

まさに 2022 年２月 24 日にロシアがウクライナを侵攻、この現代に考えられない秩序を乱す戦争が勃発し、今現在も終息に至ってない現実です。ロータリーの最大、究極の目標は世界平和だと、私は認識しております。基本的人権の底上げと人の尊厳をもって、平和が構築できるもので、ロータリーもそのために活動しています。

個人的な考えですが、世界の恒久平和がなされれば、ロータリーはいらなくなるはずだと思っております。残念ながら有史以来戦争がなくなることはなかったわけですが。

貧富の差、識字率の差（教育、教養）が紛争の大きな要因となっております。この差をなくすためにロータリーは活動しているわけで、それは世界平和への活動ということです。

今テレビで「坂の上の雲」が放送されていますが、戦争とは何か、我が国にとって何だったのか改めて考えながら観ております。

今月の平和月間に、皆様も歴史と世界情勢を少し考えていただくこともいいかと思います。そしてロータリー財団、米山記念奨学の寄付のご協力も、すべて世界平和につながっております。是非、平和月間とロータリー創立記念日にご協力を賜ればありがたいです。

表紙写真は、室賀ガバナーエレクトがフロリダ州オーランドの国際協議会への参加と無事のご帰国を願っての壮行会です。ハードスケジュールになりますがご健闘を祈念いたします。

「今年度の IA 献血奉仕活動」

高田東ロータリークラブ
青少年奉仕委員会
副委員長
椿　卓士

去る令和 6 年 12 月 15 日（日）にイオン上越店様にて、上越高校 IAC・関根学園 IAC と、高田東 RC 会員による献血呼びかけ運動が開催されました。

冬季は血液の安定供給が求められ、O 型の血液が不足しているとのことで、その点についても PR いたしました。

青少年が地域社会への奉仕活動を通して、リーダーシップ能力を伸ばせるよう支援する活動という今年度の青少年奉仕委員会の運営方針を実践すべく、12 月の寒さも強まり、風邪等が流行傾向にある中で、上越高校インターアクトクラブ 13 名、関根学園インターアクトクラブ 8 名、高田東ロータリークラブ 11 名の参加登録があり、当日体調不良による欠席が数名出ましたが無事に行うことが出来ました。

当日分の献血数は早い時間帯で達成しましたが、上越高校・関根学園インターアクトクラブの生徒さん達が、マスコットキャラクターのきぐるみを身にまとったり PR ボードを持ちながらチラシを配り、イオン上越店様に来店される方たちに向けて積極的に献血の必要性に関する呼びかけ運動を行っていただきました。

ロータリークラブ会員として、インターアクトクラブのみなさんの理解と情熱、ご参加あっての社会奉仕活動であると、改めて実感いたしました。

実施後の例会では来年度の献血呼びかけ運動に高田東ロータリークラブ会員より一人でも多くご参加いただき、インターアクトクラブの皆さんと共に積極的に活動し、また、大人として生徒さん達を見守っていきましょうとお伝えしました。

男性も
OK!
O型

第27回クリスマス献血キャンペーン「あなたの愛を！！」

新潟東ロータリークラブ
青少年委員会
委員長
佐藤　寿彦

2024 年 12 月 22 日（日）に、万代シティ周辺でクリスマス献血キャンペーンを開催しましたので、ご報告させていただきます。当キャンペーンは毎年血液が不足する年末年始の時期に開催しています。献血の大切さを多くの人に理解していただき、インターアクターが交流し、奉仕と国際理解を目指すインターアクトクラブの仲間として友情を深めることを目的とし、敬和学園高校、東京学館新潟高校、日本文理高校のインターアクトクラブと、本年より新発田商業高校のインターアクトクラブを新たに迎え、4 校の合同実行委員会で開催しました。

近年はコロナの影響で中止や規模を縮小しての開催でしたが、今年はコロナ前の規模に戻して企画しました。万代シティ各所で献血を呼びかけるほか、ステージをお借りして合唱やチアダンスなどのイベントを行い、終了後にはクリスマスパーティーを予定していました。当日はあいにくの悪天候で、ステージイベントは中止、呼びかけも早期切り上げとなってしまいました。しかし、インターアクトクラブの学生の呼びかけの甲斐もあり、献血バスでは受付人数 50 名、採血 44 名、献血ルームばんだい ゆとりろでは 171 名の受付と多くの方から献血のご協力いただきました。

最後に、献血キャンペーン開催にご協力いただきました新潟県赤十字血液センター様、万代シティ商店街振興組合様、万代シルバーホテル様、新発田城南ロータリークラブ及び新潟市内 7 ロータリークラブの皆様、4 校インターアクトクラブ及びイベント出演クラブの顧問の先生並びに生徒の皆様に感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

「済生会新潟県央基幹病院への寄贈」について
地区補助金活用プロジェクト

三条北ロータリークラブ
社会奉仕委員会
委員長
松山　浩仁

2560 地区のロータリアンの皆さんこんにちは。また地区のロータリー財団委員会には大変お世話になりました。今年度の地区補助金を利用させていただいた社会奉仕事業についてご報告させていただきます。

プロジェクト名は「済生会新潟県央基幹病院への寄贈」とさせていただき、武田会長の意向で昨年の 3 月に県央エリアに開院した県央基幹病院へ医療活動や利用患者さんへのサポートにつながればと、車椅子と液晶モニターをそれぞれ 5 台ずつ寄贈させていただいた事業です。

開院したばかりで最新の医療設備が整った病院ではあるとは思いますが、病院側からの報告では、今回寄贈させていただいた車椅子は点滴棒の設置が可能であり、さらに足上げ機能も備わっているため､手術後の患者さんや骨折された患者さんの移動やリハビリテーションの補助など多岐に利用され、医療現場で欠かせない大変有用なものとして活用しているとの事でした。またディスプレイモニターにつきましては、各病棟のカンファレンス室に設置し、情報共有や症例検討会の場での活用に加えWEB 会議などの場面でも有効に活用されており医療スタッフの連携が一層円滑になり、結果患者様に質の高い医療サービスの提供に繋がっていると御礼の言葉をいただいております。

11 月 5 日に遠藤院長ほか病院関係者の方々と三条北ロータリークラブのメンバー 33 名が出席し、県央基幹病院の会議室で贈呈式を行い地元の新聞の記事に取り上げていただきました。また車椅子とモニターにはロータリークラブのシールを貼付し、少しでもロータリーの活動を認知していただけるのではないかと思っています。

地区からは 2,858 ドル（当時の為替レートで 458,528 円）の補助をいただき、寄贈金額は約 62 万円程の事業でした。

三条北ロータリークラブ様
贈呈式

県内留学生と長岡地域の交流事業

長岡ロータリークラブ
青少年奉仕委員会
委員長
土田　正憲

長岡ロータリークラブでは 12 月 14 日（土）、地区補助金事業として、国際大学の留学生と長岡高専インターアクトクラブが、長岡地域の産業や文化、歴史を学びながら交流を深める日帰りバスツアーを実施しました。留学生とインターアクトクラブ、長岡ロータリークラブメンバーが一緒に過ごし、親睦と交流を深めることで長岡地域を印象づけ、当地域と参加者の将来の発展につなげることを目的としています。

当日は国際大学と長岡高専から 45 名が参加しました。長岡高専に集合後、「道の駅ながおか花火館」「新潟県立歴史博物館」を見学。また、歴史博物館の研修室にて、留学生とインターアクトクラブが、「さらに交流を深めていくためにどうしたらよいか！」をテーマにグループよるディスカッションとプレゼンテーションを行いました。建設的な意見やユニークなアイデアが数多くあがっていました。

運営面でアイスブレイクやクラブメンバーとの交流の仕方などについて反省すべき点はあるものの、アンケートでは、「様々な留学生と交流できてなかなかいい機会でした！」「短い時間でしたが、とても生産的でした」「長岡の文化をもっと知る機会をいただきありがとうございました」などの声があがったことに加え、参加者の 94％が「長岡の歴史や文化に触れることができた」、85% が「参加者同士の交流ができた」と回答されました。この結果から事業の目的達成を感じた次第です。当日の様子は新潟日報に掲載され広報面でも貢献できたのではないかと思います。

最後になりますが、地区補助金を利用させていただいたこと、また関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

今後のラーニングスケジュール

地区ラーニング委員会
副委員長
渡邊　明紀（新発田 RC）

常日頃より地区ラーニング委員会の活動に関しまして、ご理解ご協力を賜りまして大変ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

髙橋年度で地区研修準備委員会が設立され､米山年度で地区研修委員会がスタートし､主にガバナー補佐や地区チームそしてクラブ会長幹事の皆さんに、来るべき自年度のためにエレクト年度で研修を受講してもらってきました。その後 RI でも“研修”から“ラーニング”へ、そして“研修リーダー”から“ラーニングファシリテーター”へと一方通行になりがちの講話受講のスタイルから、事前学習を基本とし相互理解を深めるラーニング形式への転換などを経て、南雲エレクト年度で実績を積み重ねてきました。（当委員会も地区研修委員会から地区ラーニング委員会に呼称改名いたしました。）

特に阿部地区幹事はじめとする南雲年度地区スタッフ皆さんのリーダーシップの下、南雲エレクト年度での地区研修・協議会や地区チーム研修セミナー及びガバナー年度地区大会では従来の開催形式から鮮やかに、そして軽やかに軌道修正がなされたことは、今後の地区運営に大いに勇気を与えた実例として参考にすべきと考えております。南雲年度スタッフのご努力に改めて感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

さて、室賀エレクト年度でも鋭意ラーニングが進められていますが、今後のスケジュールを下記に掲載し、ご関係の皆様の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

【地区チームラーニングセミナー】（室賀年度）
日時　：2025 年 2 月 22 日（土）
会場　：ANA クラウンプラザホテル新潟（新潟市）
対象者：地区チーム（ガバナー補佐、地区委員長、ガバナースタッフ）

【ビギナーラーニング】（南雲年度）
日時　：2025 年 5 月 31 日（土）
会場　：長岡市中央公民館　さいわいプラザ
対象者：入会年度の浅いロータリアン（初年度～ 3 年目程度）

特にビギナーラーニングは、当地区としても初めての試みです。各クラブでの炉辺会合などで「ロータリーの本質とは何か？」「各クラブの歴史や生い立ち」など学ばれているとは思いますが、ロータリー章典などの原点を紐解きながら、近年変化して来ている RI の動向や他クラブの活動の好事例など、普段と異なる視点からロータリーを学ぶことのできる貴重な機会です。奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

「世界でよいことをしよう」
財団委員会通信

パキスタン　ポリオ根絶活動報告
―私たちがパキスタンに行く理由 ―

ロータリー財団委員会 副委員長
武田　真(水原 RC)

私は昨年の 12 月 8 日から 10 日の 3 日間、パキスタンの都市カラチにおいてロータリアンの有志で組織されているチームポリオジャパンのポリオ根絶を目的としたワクチン投与活動や飲用水のための簡易プラントの寄贈セレモニーに参加しましたのでご報告させていただきます。当地区では高田ロータリークラブ所属、当財団委員会委員の高坂光一さんも参加しました。カラチはパキスタン南部、アラビア海沿岸にあるパキスタン最大の都市であり、地域人口は 2,282 万人の世界第 7 位の大都市で、同国の商業・金融の中心地です。東京の成田からタイのバンコクを経由して半日かけてカラチのジンナー国際空港に到着しました。

8 日の初日午前、同行した岡山南ロータリークラブ太田良香さんが寄贈されたジャバズタウンの水プラントセレモニーを行いました。カラチは一年間ほとんど降雨がない街のため、飲料水の劣悪な水質状態はポリオの感染原因の一つになっています。そこで簡易的ではありますが、安心して飲水できるプラントが日本のロータリアンの努力で各地に作られています。プラントには地域住民の人たちがポリタンクを持って汲みにくる姿が後を絶ちませんでした。
（左端　太田良香さんと現地の子ども達）

午後からはカラチ高速道路での生ワクチンの投与活動を実施しました。カラチには地方都市から毎日約 1000 台のバスが到着します。そのバスを一台ずつ止め、ポリオワーカーと呼ばれる現地のワクチン投与のために活動する人たちと共にバスに乗り込み、5 歳以下の子どもを見つけては投与の許可を親からもらい、生ワクチンを口へ投与します。ポリオワーカーは、カラチでは男性約 200 名、女性約 1800 名が在籍し、365 日 24 時間活動しているとのことです。

左の写真は高田ロータリークラブの高坂さんがバスに乗り込み、子どもに生ワクチンを投与している写真です。ワクチンを２滴ほど口に垂らす程度ですが、投与を怖がって嫌がる子どもも多く、手間取る場合があります。また、投与そのものを拒む親もいますが、日々続けられるワーカーさんたちの地道な活動こそポリオ根絶の原動力であることを実感しました。
そして、ワクチン投与が終了すると、子どもの左手の小指に特殊なマジックで色を付けます。
色を付けると暫くは消えないそうで、重複した投与を防ぐためにマーキングするとのことです。

ワクチン投与は、パキスタンの子どもたちの未来を守る大切な活動です。投与によってポリオの感染を防ぐことができるのです。ロータリアンの皆さま、これからも引き続き、ポリオプラス基金に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。3 月は高田ロータリークラブの高坂さんのパキスタンレポートを皆さまにお届けしますので、ご期待ください。

第 2560 地区　2024-25 年度 12 月末　会員数報告

R　C	例会数	My Rotary アカウント登録率	会員数 2024年7月1日	会員数 12月末会員数	会員数 うち女性	会員数 増減
第1分区(9クラブ)		-	377	382	42	5
新発田	3	30.4%	87	92	1	5
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	4	29.4%	33	34	2	1
中条	4	100.0%	49	50	3	1
新発田城南	4	25.0%	39	40	5	1
豊栄	3	26.1%	23	23	2	0
新発田中央	4	9.1%	43	43	6	0
中条胎内	3	50.0%	39	37	9	-2
村上岩船	4	28.0%	26	25	6	-1
第2分区(9クラブ)		-	447	460	31	13
新潟	4	33.3%	78	81	3	3
新潟東	3	18.8%	62	64	7	2
新潟南	4	36.8%	113	114	8	1
佐渡	2	75.0%	4	4	0	0
新潟西	4	50.9%	52	55	3	3
佐渡南	4	12.8%	38	39	3	1
新潟北	4	31.6%	37	38	1	1
新潟中央	3	37.5%	23	24	0	1
新潟万代	3	53.7%	40	41	6	1
第3分区(5クラブ)		-	94	96	8	2
新津	4	33.3%	15	15	1	0
村松	4	52.9%	15	17	1	2
白根	4	27.3%	31	33	2	2
新津中央	3	38.5%	27	26	4	-1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	5	0	-1
第4分区(11クラブ)		-	354	355	31	1
三条	3	12.3%	54	57	0	3
燕	3	7.1%	42	43	3	1
加茂	3	10.0%	29	30	4	1
三条南	4	23.7%	37	38	3	1
分水	4	70.0%	30	30	4	0
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.0%	24	25	3	1
三条北	3	14.9%	52	47	4	-5
巻	3	8.0%	26	25	2	-1
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	3	20.6%	34	34	5	0

R　C	例会数	My Rotary アカウント登録率	会員数 2024年7月1日	会員数 12月末会員数	会員数 うち女性	会員数 増減
第5分区(7クラブ)		-	297	293	30	-4
長岡	3	64.4%	47	44	5	-3
柏崎	4	4.4%	45	45	0	0
長岡東	3	27.6%	60	58	9	-2
柏崎東	3	19.5%	41	41	2	0
栃尾	4	23.8%	20	20	1	0
長岡西	3	20.0%	49	50	3	1
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分区(6クラブ)		-	114	121	11	7
十日町	3	25.0%	28	36	7	8
小千谷	3	14.8%	27	27	2	0
雪国魚沼	3	24.0%	26	25	2	-1
十日町北	2	0.0%	10	10	0	0
津南	4	28.6%	15	15	0	0
越後魚沼	4	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)		-	303	313	23	10
高田	3	36.4%	67	66	4	-1
直江津	3	35.1%	72	74	6	2
新井妙高	4	16.7%	34	36	1	2
糸魚川	3	84.8%	43	45	3	2
高田東	4	52.9%	33	34	2	1
糸魚川中央	4	46.7%	26	30	2	4
越後春日山	3	78.6%	28	28	5	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
12月末会員数	2,020 人
女性会員数	176 人
純増減会員数	34 人
My Rotaryアカウント登録率	31.4 %

地区主要行事予定

2025年1月20日現在

年	月	日		行　事	会　場
2025年(R7)南雲年度	2月	平和構築と紛争予防月間			
		2	(日)	第1回全国IA委員長会議	AP八重洲＋ZOOM
		8	(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
		8	(土)	第2回派遣学生オリエンテーション	アオーレ長岡・長岡グランドホテル
		9～13	(日～木)	国際協議会	オーランド(米国フロリダ州)
		15	(土)	第55回ローターアクト地区大会	デュオ・セレッソ
		22	(土)	国際協議会報告・地区チームラーニングセミナー・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	ANAクラウンプラザホテル新潟
		23～24	(日～月)	スキー国際交流研修	妙高杉ノ原スキー場
	3月	水と衛生月間			
		1	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
		9	(日)	第4回全国RYLA委員長会議	AP日本橋＋ZOOM
		15	(土)	室賀年度　クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）	ホテルイタリア軒
		22～23	(土～日)	全国ローターアクト研修会	大阪市
		28～31	(金～月)	インターアクト国際交流事業　次年度視察	台湾
		29～30	(土～日)	ライラ研修	村上市教育情報センター

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
柏崎東	伊藤　勝史	2024.12.02	伊藤司法書士事務所	所長	司法書士
三条東	大竹　恵美子	2024.12.27	(有)マルダイ	常務取締役	金属製品製造
三条東	納谷　美咲	2024.12.27	スナック　心ばかり	オーナー	飲食業
雪国魚沼	中嶋　知一	2025.01.01	(株)中島屋	代表取締役	建設建材卸業
糸魚川	後藤　幸洋	2025.01.01	(株)後藤組	代表取締役	土木建設
長岡	遠藤　正達	2025.01.07	(株) NST新潟総合テレビ	長岡支社長	放送業
長岡	藤田　豊	2025.01.07	吉乃川(株)	取締役総務経理部長	清酒製造業
中条	南　克昭	2025.01.08	鼓岡郵便局	局長	郵便局
新井妙高	稲生　大樹	2025.01.08	稲生塗装	代表	塗装業
中条胎内	近　真之	2025.01.17	(株)第一管工	代表取締役	建設業(管工事)

【訃報】　ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
雪国魚沼	中嶋　成夫	2024.11.19	(株)中島屋	代表取締役	建設建材卸業	

Rotary Region 1, 2 & 3
コーディネーター NEWS
2025年2月号　No.1
発行：Region 1, 2 & 3
RC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

「離見の見」（りけんのけん）

第1地域　ロータリーコーディネーター　橋岡　久太郎（佐倉中央 RC）

自分が舞う姿を客観視する。能楽の体制を築いた室町時代前期の能楽師の名言です。国際ロータリーの理事会が勧める 3-Year Rolling Goals もクラブの発展と活性化のためにクラブの現状を客観視してみる取り組みです。活動や目標の継続性を重要な課題を考え助言する行動計画推進リーダー（APC:アクションプランチャンピオン）が各地域、地区、クラブに設置が推奨され地域、地区、およびクラブに対する 3 年間の目標と毎年ごとの見直し修正をしながら目標を具現化していきます。

ロータリーコーディネーター（RC）は戦略計画の推進と会員増強・新クラブ拡大を担当し、各地区のガバナーに協力し、各クラブの活性化を図る任務を与えられています。この「クラブ」にはローターアクトクラブ（RAC）も入ります。

今年度は特に各地域、地区、クラブの行動計画推進リーダー（APC）の方々と協力連携して皆様方のロータリー活動が愉しく充実したものになるよう勤めて参ります。

結びに驚愕の 216 名の会員増強を成し遂げられた第2地域ロータリーコーディネーター補佐の若林　英博氏（RID2580:PDG）の 2024.6.1 オンラインセミナーの録画映像をご紹介いたします。

Rotary Region 1, 2 & 3
コーディネーター NEWS
2025年2月号　No.2
発行：Region 1, 2 & 3
RC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

アーチ C・クランフが目指したことは

第 2 地域　ロータリー財団地域コーディネーター補佐　大谷　新一郎（相模原南 RC）

会員皆様のロータリー財団に対するご理解ご協力に厚く感謝申し上げます。

私ども第2地域の財団委員会は FF9と呼ばれる9地区の財団委員長さんと伊藤 RRFC（ロータリー財団地域コーディネーター）・3名の ARRFC（ロータリー財団地域コーディネーター補佐）で情報交換及び財団寄付の促進を目的とするチームを作っております。
3代前の舟木 RRFC の名を付けさせていただきました。また昨年元日に発生した能登半島地震の2610地区は第2地域内であります。復興に対し会員皆様の支援等に感謝するとともに、2610地区の会員皆様の大変困難な環境の中でのゆるぎない奉仕活動に敬意を表する次第です。

さて、今回はアーチＣ・クランフがロータリー財団の設立で目指したことを考えてみたいと思います。

1917年に財団の前身となる基金が提案された年は第1次世界大戦の真っただ中で、またスペイン風邪という過去に類を見ない感染症（世界で5000万人が死亡）が蔓延している混沌とした世界でありました。そんな中ロータリー財団をぜがひでも設立した理由は何だったのでしょうか。その目的は2点ほど考えることができると思います。

1）ロータリーが社会奉仕を今まで通り実行していくには世界でよいこと をするための基金を作るのが極めて適切と考えた。
2）ロータリーの奉仕の実行と精神を未来永劫に続けていくにはロータリー財団が不可欠と考えた。
その意味をたとえ話で以下のように語っています。
「ロータリー財団はレンガ石の記念碑を建てるものではない。たとえ大理石に刻んだとしてもやがてはくずれてしまうだろう。真鍮を使ったとしてもいつかは汚れてしまうだろう。だが心の中に碑銘を刻むなら、そしてロータリー精神と神をおそれ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、我々が刻んだものは永遠に輝き続け、文明の続く限りロータリーを不滅なものにするだろう。」

アーチＣ・クランフの精神を胸に刻み、
争いのない平和な世界の実現に世界でよいことを推進しましょう。

Rotary Region 1, 2 & 3
コーディネーター NEWS
2025年3月号 No.3
発行：Region 1, 2 & 3
RC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第 3 地域 カルガリー国際大会 日本推進チームメンバー 安行 英文（ 三田RC)

いよいよ2024－25年度下半期がスタートし、今年度も後半に差し掛かりました。年度末には国際大会が控えております。それまでの各地区ガバナーをはじめとする地区メンバー、クラブ会長様、会員の皆様には是非今年度の締めくくりとしてカルガリーでの思い出に、ロータリーの交流の拡がりとしてご参加なさいませんか。今度はあなたの番です「Now it’s your turn!」

1949年以来、カルガリーは世界中の要人を歓迎するためにホワイト・ハット・セレモニーを実施してきました。ロータリー国際大会に登録、出席されるあなたが今度はこの栄冠に属するかもしれません。

このユニークな伝統を直接体験するために、皆様には個人的な招待をしたいと考えています。このロータリーの行事に参加して、あなたの地区のロータリー会員が2025年6月にカルガリーを訪れ、カルガリーのロータリー会員が暖かく歓迎する文化を楽しみ、そして大会の一部にあることをお勧めいたします。

世界的なつながりとインスピレーションの爽快な旅の体験「An exhilarating travel experience of global connections and inspiration」

魅力的なディスカッションに参加し、著名なスピーカーから学び、革新的で、新鮮なブレイクアウト・セッションを探求できます。ベスト・プラクティスを交換し、革新的なプロジェクトのための新しいアイデアに火をつけ、世界中の志を同じくするコミュニティ・チェンジメーカーと生涯にわたるつながりを築くことでできるのです。驚くべき魔法は自己を超越した能力と奉仕の精神で、さらに友情によって発せられるのです。さぁ、カルガリーへ！現地でお待ちしております。

「カルガリーハット」を被って、大いに盛り上がりましょう！

現在、深尾兼好第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐にご協力いただき、「カルガリーハット」を製作中です。昨年度のシンガポール国際大会でも感じましたが、国際大会の開会セッションの各国紹介では、例年我々日本チームは他国勢の勢いに圧倒されてしり込みしていると思いませんか？カルガリーでは、お揃いのハットを被ってTEAM JAPAN の心意気を見せましょう。また、国際大会への参加者推進にもご活用くださいますようお願い申し上げます。詳細につきましては、12月の「第53回ロータリー研究会」でご説明いたします。

皆様、国際大会の登録はお済みでしょうか？

登録料は、2025年3月31日までは$625、4月1日以降は$695 になりますので、是非、お早めにご登録ください。

「日本人親善朝食会」（6月22日朝）の会場はハイアット リージェンシー カルガリー

日本推進チームメンバーが、皆様のお手伝いをいたします。

国際大会に関するご相談、ご質問がございましたら、どうぞご遠慮なさらずいつでもご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

第1地域 伊藤三之（山形北RC） lawyer-i@js7.so-net.ne.jp
第2地域 樋口 明（神奈川RC） higutikk@violin.ocn.ne.jp
第3地域 安行英文（三田RC） mayfairchelsea@icloud.com

添付でお送りしたカルガリー国際大会のチラシもご覧ください。

Rotary | CALGARY 2025

カルガリー国際大会

21-25 JUNE 2025・CALGARY, CANADA

convention.rotary.org

2025年6月21日 ～25日

6月22日（日）

日本人朝食会

ハイアットリージェンシー

開会セッション

6月25日（水）

閉会セッション

【会 場】

本会議

Scotiabank Saddledome

友愛の家、分科会他

BMO Centre

【登 録】

My Rotaryの国際大会の「登録」からオンラインで行なってください。

$525

2024年5月30日

～2024年12月15日

$625

2024年12月16日

～2025年3月31日

$695

2025年4月1日

～2025年6月2５日

※30歳以下、会員以外等は登録料が異なります。
その他、チケット制のイベントにつきましては、MyRotaryでご確認ください。

＊ご質問、ご相談はこちらまで！

2025カルガリー国際大会

RI 推進チームメンバー兼 推進コーディネーター

服部 陽子(RID2750 東京広尾RC）

hattori@ychem.co.jp

日本推進チーム

第１地域担当　伊藤 三之(RID2800 山形北RC)

lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

第２地域担当　樋口　明(RID2590 神奈川RC）

higutikk@violin.ocn.ne.jp

第３地域担当　安行 英文(RID2680 三田RC）

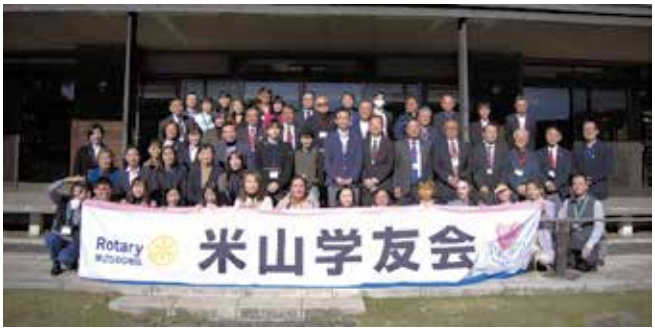
mayfairchelsea@icloud.com

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
vol. 298
2025年1月14日
発行

1 米山学友が日本で歩むキャリアを共有

11月30日、国際ロータリー第2580地区米山学友会が大正記念館にて、第2回目となる「キャリア共有交流会」を開催し、米山学友27人、米山奨学生16人を含む60人が参加しました。

この交流会は、米山奨学生・学友たちが日本で就職や転職、起業といったキャリアの選択を行う際、同じ境遇にある米山学友たちが自らの経験を共有するという目的から、2023年12月に第1回目の交流会を開催。就職・転職・起業・資格取得などに重点を置き、参加者から好評を博しました。



グループディスカッションを行う参加者たち

今回の第2回は、韓国、ベトナム、中国、カンボジアなどの学友たちがキャリア紹介を行ったほか、学友の発表後に「若い学友がどう日本社会へ溶け込むか」をテーマにグループディスカッションを実施。参加者からは、「日本社会に溶け込むには、まず自身の努力が不可欠」「周囲の社会・日本人を理解しようとする心構え、楽観的な気持ちが大切」など、さまざまな声が上がりました。

2 新理事長が決定 台湾米山学友会総会開催

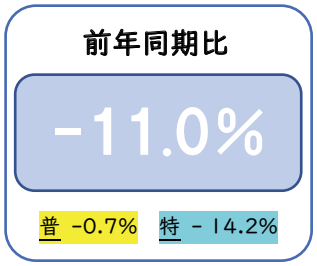
12月8日、台湾米山学友会の総会が台北市内で開催され、国内外から集まった米山学友とロータリー会員ら総勢107人が集まりました。当会からは相澤光春副理事長が出席しました。

林志昇（リン シ ショウ）理事長（1992-94／津ＲＣ）の開会挨拶で幕を開け、来賓挨拶と各種報告を行った後、同学友会が独自で支援している現地日本人奨学生7人の紹介が行われ、温かい拍手が送られました。今回は役員改選の年にあたり、投票の結果、第10第理事長に盧本文（ロ ホンブン）さん（1984-86／松原ＲＣ）が選出されました。盧さんは同学友会会員に向けて、「学友会活動をさらに発展させ、日台友好の絆を一層深めることが目標です。この学友会を通じて、世界平和の実現に少しでも貢献していきたいと考えております」と、挨拶を述べました。

また、同学友会は12月26日に第2820地区インターアクトクラブの台湾研修交流会に協力。互いの活動紹介やグループディスカッションを通じ、相互理解の促進に貢献しました。

インターアクト台湾研修にて台湾米山学友会の活動を紹介

3 寄付金速報 ― 下期普通寄付のお願い ―



12 月までの寄付金は前年同期と比べて 11.0％減（普通寄付金:0.7％減、特別寄付:14.2％減）、約１億 370 万円の減少となりました。前年比では減少していますが、今月は 250 万円の寄付を含む大口寄付が７件ありました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。１月 9 日に「2024 年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りしております。年初早々からご寄付のお願いとなりますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

4 「がん治療を進歩させる」18 年ぶりの卓話

12 月 12 日、イラン出身の米山学友、ロバベラヒミさん（2005-06／吹田ＲＣ）が 18 年ぶりに世話クラブを訪問し、卓話を行いました。

現在、アメリカのメリーランド大学医学部放射線腫瘍学科の准教授として勤務するラヒミさん。大阪大学との共同研究のための来日に合わせ、例会への出席が実現しました。今回は、その卓話の一部をご紹介します。

18 年ぶりに世話クラブに戻ったラヒミさん（中央）

【ラヒミさんの卓話から抜粋】

本日、例会に出席できることを大変光栄に思います。私はメリーランド大学医学部放射線腫瘍学科の准教授として、また、誇り高き米国市民として皆さまの前に立っています。

私の研究テーマは放射線腫瘍学における量子コンピューティングで、がん治療に画期的な進歩をもたらすと信じています。12 月に日本学術振興会のブリッジ･プログラムを通じて来日し、大阪大学と共同研究を行っています。この研究は、革新的な科学によってがん治療を進歩させるエキサイティングな一歩です。私は、科学に有意義な貢献をし、がん患者の生活を向上させることを約束します。

約 18 年前、私が大阪大学の博士課程に在籍していた頃、皆さまからいただいた温かいご支援は、私の人生とキャリアに大きな影響を与えました。ロータリー米山記念奨学金をはじめとするさまざまな支援によって、今があります。皆さまへの感謝を忘れず、ここで学んだ優しさと献身の精神を、日々の仕事に生かしていくことを誓います。本日、このような機会を与えていただき、心から感謝申し上げます。

2/14 まで！

第６代よねやま親善大使 募集中

第 6 代よねやま親善大使を募集中です。「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・米山セミナーなどでスピーチを行い、当事業への理解を広める活動をしています。任期は 2025 年７月から２年間、奨学期間を終了した日本国内在住の米山学友で、スピーチが得意な方、ロータリー活動に熱意のある方の応募をお待ちしています！応募締切は **２月 14 日（金）** まで。

詳細はこちら

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限 ２ 人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。地区が誇る学友を一人でも多く見出し、米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。

詳細はこちら

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾(ながお)